

一般社団法人 日本薬学教育学会 第4回理事会 議事録

開催日時：令和3年1月29日（金）13：00～15：15

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、石川 さと子、入江 徹美、奥田 真弘、
木内 祐二、小佐野 博史、高橋 一栄、武田 香陽子、永田 泰造、
西口 工司、長谷川 洋一、

<欠席>：亀井 美和子、鈴木 匡、安原 智久、

監事：林 正弘

<欠席>：吉富 博則

事務局：斎藤 渉、村上 聡

役員・理事長等選任細則第13条第2項に基づき選任された理事長推薦理事が初めての理事会出席となるので、議事に先立ち各理事および監事による自己紹介が行われた。

定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）

中村理事より前回理事会の議事内容が議事録（案）に基づいて報告され、承認された。

2. 学会誌「薬学教育」第4巻発刊報告（報告・協議事項）

入江編集委員長より、学会誌「薬学教育」の第4巻冊子体（1,000部）を予定通り発行したことが報告された。入会案内および学会賞の募集を冊子体の最初に掲載し、冊子体のみに掲載されている会員特典の内容についても、内容に応じて学会ホームページへの掲載も検討することとした。原著論文の投稿が増えてきており、教育に関する研究を推進するためのシンポジウムを編集委員会で引き続き企画していく方針が確認された。

3. 第5回大会最終報告（報告事項）

小佐野理事より第5回大会の最終的な会計報告が行われた。収入は4,940,000円、支出は4,872,478円で、収支差額67,522円を学会に返金する予定とのこと。大会収支については公認会計士の監査を受け、監査費用は200,000円であったことが報告された。

4. 第6回大会開催準備状況（報告事項）

長谷川理事より第6回大会の開催概要が資料に基づいて紹介された。テーマは「今に挑戦する薬学教育～ニューノーマル時代の学び～」で、大会ホームページを公開しており、シンポジウム・ワークショップの企画を2月26日まで募集している。大会は8月21日・22日に名城大学八事キャンパスにおいて対面形式で開催する準備を進めているが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはWeb開催も検討する。特別講演は小出宣昭氏（中日新聞社顧問・主筆）、教育講演は溝上慎一氏（学校法人桐蔭学園 理事長）に依頼済みで、一般演題

は約 140 題を予定している。大会事務局は長谷川理事が担当し、広告・寄付の募集をこれから行っていく。大会の予算としては収入 8,660,000 円、支出 8,660,000 円を計上している。懇親会の開催は難しいので、代わる企画を検討している。企業展示については、対面で開催できればシミュレーションに関する内容で行いたい。

5. 2021 年の学会活動について（協議事項）

有田理事より倫理教育委員会の活動計画として、倫理教育現状調査の実施案が資料に基づいて紹介された。改訂コアカリの導入によって各大学での倫理教育の取組がどのように変化しているかを調査し、結果を大会のワークショップで活用する。依頼文書は郵送し、回答は google form を用い、データ解析は業者に依頼する予定である。調査結果の各大学へのフィードバックについては今後検討する。

定款の第 38 条第 2 項「各委員会の委員長及び委員は、理事会の承認を得て理事長が委嘱する」に基づき、倫理教育委員会の委員と委員長案を有田理事が理事会に提案することとした。委員会活動を迅速に進めるため、委員及び委員長案の理事会での審議はメール会議で行うこととした。

乾理事長からは 2021 年度学会賞（教育研究奨励賞、教育実践奨励賞）の応募締切日が 2 月 28 日であり、昨年以上の応募者数をめし各理事が広報に努めるよう依頼された。

6. 担当理事・委員会報告（報告事項）

連携担当の木内理事より、医療・福祉の教育学会が集うプラットフォームの設置を、同理事が理事長を務める日本保健医療福祉連携教育学会から呼びかけることを検討中である旨が報告された。関連して、日本医学教育学会の専門職連携部会の委員を務めている石川理事からは、同部会での検討状況が報告された。

広報担当の石川理事より、第 6 回大会の案内を発信するなど、ホームページの更新状況が報告された。今後は委員会等の学会活動を報告するページを新設する予定。

7. 理事長の職務執行状況（報告事項）

定款第 24 条第 3 項「理事長は、毎事業年度に 4 か月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない」に則り、乾理事長より資料に基づいて 2020 年 7 月 1 日～2021 年 1 月 29 日の間の職務執行状況が報告された。

8. 第 5 回日本老年薬学会 後援名義使用許諾について（報告・協議事項）

第 5 回日本老年薬学会学術大会の大会長より後援名義使用の申請があり、資料の確認の上、当該大会の後援を承認した。

今後、他の学会より同様の申請があった場合、回答を急ぐときには理事長及び副理事長で決裁し、理事会には事後報告する方針が承認された。

学術集会等の共催や後援に関する基本方針を策定するため、事務局で他の学会を参考に雛形を作成し、次回理事会で検討することとした。

9. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2021年1月25日時点の会員登録状況が報告された。前回の理事会報告時より個人会員が12名増えて、合計782名となった。まだ機関会員となっていない大学には入会依頼を送付する。

10. その他

・第7回大会について

有田理事より第7回大会を北里大学の白金キャンパスにおいて2022年8月20日（土）・21日（日）に開催する予定となったことが報告された。大会長と実行委員会事務局長の選任については主催校に一任することを確認した。

・1st AASP Young Scientist Conference について

乾理事長より、アジア薬科大学協会 Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) によって2020年12月11～13日にオンラインで開催された1st AASP Young Scientist Conference の概要が報告された。日本からの参加者は20名余りであった。

（議事録文責：中村明弘）

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2021年1月29日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘